

学部・学科等名及び入学定員等 (平成 31 年度志願倍率)		学力検査 等の区分 ・日 程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等		
			教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2 段階 選 抜
データサイエンス学部 (5.0倍) 100 名 前 期 50 名 後 期 20 名 その他 30 名	データサイエンス学科 100 名 前 期 50 名 後 期 20 名 その他 30 名	前期 2月25日	国 数	国語 数Ⅰ・数Ⅱと 数Ⅱ・数Ⅲ,簿,情報から1	数 外	数Ⅰ,数Ⅱ,数Ⅲ,数Ⅳ,数Ⅴ,数Ⅵ コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ	
		地歴 公民 理 外	世Ⅰ,世Ⅱ,日Ⅰ,日Ⅱ,地理Ⅰ,地理Ⅱ } から1 現社,倫,政経,倫・政経 } 又は2 物,化,生,地, } から1 基礎2科目 } 又は2 英,独,仏,中,韓から1 [5教科7科目又は6教科7科目]	から3			
		後期 3月12日	国 数	国語 数Ⅰ・数Ⅱと 数Ⅱ・数Ⅲ,簿,情報から1	外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ 総合問題	
		地歴 公民 理 外	世Ⅰ,世Ⅱ,日Ⅰ,日Ⅱ,地理Ⅰ,地理Ⅱ } から1 現社,倫,政経,倫・政経 } 又は2 物,化,生,地, } から1 基礎2科目 } 又は2 英,独,仏,中,韓から1 [5教科7科目又は6教科7科目]	から3			

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	小論文	面接		配点 合計
センター試験	200	* 300		200	* 300	200				900	A O 追加合格
個別学力検査				200		200				400	
計	200	* 300		400	* 300	400				1300	
センター試験	200	* 300		200	* 300	200				900	
個別学力検査						300	300			600	
計	200	* 300		200	* 300	500	300			1500	

〔注意事項〕

1. 大学入試センター試験の利用教科・科目について

- (1) 基礎2科目は、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎のうち2科目の選択を表します。
- (2) 地理歴史、公民、理科において、「物理」と「物理基礎」など、同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択することはできません。
- (3) 数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、普通科・理数科を除く高等学校においてこれらの科目を履修した者、及び専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- (4) 経済学部の大学入試センター試験の利用教科・科目は、「A方式」又は「B方式」により行います。

2. 配点について

- (1) 教育学部、経済学部及びデータサイエンス学部の*は、選択教科を示し、4科目受験した場合は、「地理歴史、公民の第1解答科目」、「理科の第1解答科目」及び「地理歴史、公民と理科の第2解答科目から高得点の1科目」の合計3科目の成績を用います。
なお、「理科」で基礎2科目を選択した場合は、「地理歴史、公民の第1解答科目」、「理科の第1解答科目と基礎2科目から高得点の科目」及び「地理歴史、公民と理科の上記で用いなかった科目から高得点の1科目」の合計3科目の成績を用います。
- (2) 経済学部の#は、選択教科を示し、2教科以上受験した場合は、「地理歴史、公民の第1解答科目」と「数学」から高得点の1教科1科目の成績を用います。
- (3) 「地理歴史、公民」及び「理科」において、2科目受験した場合の1科目利用には、「地理歴史、公民」は、第1解答科目の成績を用い、「理科」は、第1解答科目と基礎2科目から高得点の科目の成績を用います。
- (4) 大学入試センター試験外国語の「英語」の配点には、リスニングテストの成績を含み、その利用方法については次のとおりとします。
筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計を200点満点に換算して利用します。
- (5) 経済学部の「前期日程」「後期日程」の配点は、「A方式」又は「B方式」により行います。
- (6) 経済学部の「前期日程」「後期日程」の個別学力検査の配点は、「国語・外国語」又は「数学・外国語」の組み合わせにより行います。

3. 個別学力検査等の出題範囲及び出題方法等について

(1) 教育学部

- 国語 国語総合から出題します。
- 数学 数Ⅰ、数A〔全範囲〕、数Ⅱ、数B〔(数列)と(ベクトル)〕から出題します。同一試験時間内に解答しなければなりません。
- 外国語 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱから出題します。同一試験時間内に解答しなければなりません。
- 実技検査 音楽実技、美術実技、体育実技を実施します（前期日程のみ、19頁の別表3参照）。

(2) 経済学部

- 国語 国語総合から出題します。ただし、後期日程の「国語総合」においては、古文及び漢文は課しません。
- 数学 数Ⅰ、数A〔全範囲〕、数Ⅱ、数B〔(数列)と(ベクトル)〕から出題します。同一試験時間内に解答しなければなりません。
- 外国語 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱから出題します。同一試験時間内に解答しなければなりません。

(3) データサイエンス学部

- 数学 数Ⅰ、数A〔全範囲〕、数Ⅱ、数B〔(数列)と(ベクトル)〕から共通問題を出題します。加えて、「①共通問題と同じ出題範囲、②数B〔(確率分布と統計的な推測)〕、③数Ⅲ」の3つの範囲から選択問題を出題します。同一試験時間内に解答しなければなりません。

○外国語 コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ，英語表現Ⅱから出題します。同一試験時間内に解答しなければなりません。

○総合問題 社会や日常生活での課題をとりあげた図や表を含む文章を素材に，表やグラフを読み取り，それらを用いてデータを分析し，分かったことをまとめ，その解釈について議論する能力を問います。

4. その他

(1) 教育学部の「前期日程」の個別学力検査の教科は，選抜区分に応じて「外国語・国語」，「外国語・数学」，「外国語・実技検査」又は「外国語・面接」の組み合わせにより行います。各選抜区分間の複数志願はできません。

「後期日程」の個別学力検査の教科は，「小論文」です。

(2) 経済学部の日間主コースの「前期日程」「後期日程」の個別学力検査の教科は，「国語・外国語」又は「数学・外国語」の組み合わせにより行います。

(3) 経済学部の夜間主コースの選抜は，個別学力検査等を課さない一般入試「前期日程」（入学定員26名）及び社会人入試（入学定員24名）で実施します。